

愛友会四国連合会報

第 43 号

58. 7



目次

電友会の皆様へ……………	四国電気通信局副局長……………	二
公社のうごき……………		三
五八年度公社に対する要望事項の回答……………		四
高知県電電公社退職者の会総会……………		五
春の生存者叙勲……………		五
電信電話工事協会会長表彰……………		五
OBサークル等の便り……………		六
川 柳……………	合田 勇……………	六
訃 報……………		六
共済会だより……………		七
表紙のことば……………		七
随 筆……………		七
猪谷 嘉夫 安藤 保 川津ヨシ子		
梶浦 照彦 東条 栄一 浜口 徳幸		
溝淵キミ子 吉益 格 横山 竹義		
俳 句……………		二
編集後記……………		二

電友会の皆様へ

四国電気通信局副局長

棚 橋 信 之



日ましに夏の気配が近づく今日この頃、電友会の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申しあげます。着任後、またたく間に四か月が過ぎて、ようやく公私にわたる新しい生活環境にも馴染んでまいりました。その間、四国電友会の多くの方々にもお近づきになれ、暖かいご支援をいただいております。たことを厚く御礼申しあげます。

誰の目にも明らかのように、今、公社そして世の中全体が大きな変動期に突入しています。高度成長から低成長へ、積滞と順番開通の時代から、積極販売と競争の時代へ、標準商品の大量販売時代から、商品の多様化とお客さまの選択の時代へ、そして計画の時代から不確実性の時代へと、この二、三年の間に私たちをとりまく環境が急速に変化してまいりました。

一つの時代が終り、新しい時代に向けての胎動の中で、回線開放、国際調達、経営形態等の大きな問題はいうに及ばず、日常の公社事業運営面でもいろんな歪みや新しい動きが生じ、業務全般にわたる根本的な見直しが求められています。

しかしながら、世界同時不況の中で、多くの産業、企業の活動が低迷し、新しい企業機会を模索してきる中で、幸いにして私たち公衆電気通信事業の分野では、「INS」に向けての一つの明確な目標をもっています。

この明るい側面を注視しつつ、希望の持てる、そして世の中のために役立つ事業運営をすすめることが必要と考えます。

このような意味から、電友会をはじめ、公社出身者の皆様との連携を一層深めていき、新しい時代への移りゆきの中で、諸先輩からの貴重な助言をいただきたいと考えています。また、私どもがキャンペーンを展開している広聴活動（オレンジ活動）の一環として、地域社会で活躍されている先輩の皆様にも、地域社会との仲立ちをお願いできればと考えています。

どうかよろしくご指導ご協力の程お願い申し上げます。



通信網のデジタル化を推進

— 昭和58年度設備計画 —

昭和五八年度の電信電話設備計画の概要について紹介します。

この設備計画を要約すると、加入電話の新設及び移転の申込みや通話の利用増に対して「すぐつく、すぐつながる」電話の維持に努めるとともに、将来の「高度情報通信システム（INS）」の基盤形成をはかるため、通信網のデジタル化を推進するなど、引き続き電気通信サービスの拡充、改善をはかるも

のであり、より一層投資の効率化をはかるよう配意して計画したものです。

- 計画の柱は次の①～⑤となっています。
- ① 電話サービスの一層の充実とサービス格差の是正、福祉用電話の普及。
 - ② ファクシミリ通信網サービス、データ網サービス等非電話系サービスの拡充。
 - ③ 自動車電話サービス等移動通信サービスの拡充。
 - ④ 光ファイバケーブル伝送方式の導入等通信網のデジタル化の推進。
 - ⑤ 防災対策の推進。

☆ ☆ ☆

■ 一般加入電話の増設・移転
別表のとおり。

■ 各種商品の販売

■ 公衆電話

終日利用可能で一〇〇円硬貨も使用できる公衆電話一〇〇個の増設をするとともに、既設の一〇〇円公衆電話二、二二〇個を一〇〇円公衆電話に取り替える。

■ 非電話系サービスの拡充

- (1) ファクシミリ通信網サービス
多彩なサービス機能を持ち、低廉な通信料金でファクシミリ通信が行える「ファクシミリ通信網サービス」は六月に松山でサービスを開始する。なお、高松、徳島、高知ほか六都市で工事に着手、五九年度にサービス開始の予定である。
- (2) 新データ網サービス
パケット交換サービスを新居浜へ拡大する。

■ 自動車電話の導入

自動車と一般電話、自動車相互で通話がで

■ I N S の基盤形成
 ける「自動車電話」を松山、高松で五八年度末にはサービス開始できる予定である。また、徳島、高知地域においては五九年度サービス開始に向け諸準備を進めることとされている。

I N S の基盤形成をはかるため、通信網のデジタル化を積極的に推進することとし、光ファイバケーブル伝送方式を主体として次のとおり計画している。

(1) デジタル交換機

松山局へデジタル交換機を導入するよう五七年度から工事に着手していたが、五八年度にサービス開始する予定である。

(2) 光ファイバケーブル伝送方式

五八年三月に四国で初めて、松山—高松間で工事に着手したが、五八年度には新たに高松—徳島、松山—大洲など五区間を計画した。

■ 衛星通信

五八年二月に打上げた実用通信衛星二号(CS-12)を利用した衛星通信は、従来の方式にない広域性、広帯域性に優れており、非常災害時における重要通信の確保、離島回線の設定、臨時電話やテレビ回線の設定等に利用するものである。

四国においても衛星通信が利用できるよう準ミリ波車載局(一組)を松山へ配備することとした。

■ 防災計画

非常時における電気通信サービスを確保するため、引き続き防災対策を推進することとし、局舎の水防対策をはじめ、台風等災

害時における無人交換局の停電対策及び公衆電話の通話確保対策を計画した。また、伝送路の信頼性向上をはかるための二ルート化として大洲—長浜など一〇区間を計画している。

(別表) 加入電話増設・移転、計画数

区 分	計
加入電話の増設	(39,000) 34,000
加入電話の移転	(58,000) 62,000

各種商品販売計画数

商 品 名	計 画 数	商 品 名	計 画 数
(加入数) キ ャ ッ チ ホ ン	(4,800) 6,500加入	(加入数) プ ッ シ ュ ホ ン (ミニプッシュホンを含む)	(35,000) 38,000加入
(加入数) で ん わ ば ん	(1,500) 1,600加入	(電話機数) ホ ー ム テ レ ホ ン (ホームテレホンを含む)	(22,800) 26,800個
(台 数) 電 話 フ ァ ク ス	(800) 1,510台	(電話機数) 親 子 電 話 (新親子電話を含む)	(28,000) 26,800個
(電話機数) シ ル バ ー ホ ン あ	(250) 250個	(電話機数) ビ ジ ネ ス ホ ン	(25,000) 25,400個
(電話機数) シ ル バ ー ホ ン めいりよ等	(2,000) 2,050個	(内線電話機) P B X	(2,400) 3,200個

() 内は前年度の計画数

松山へ四国初の
デジタル交換機を導入
— I N S 形成をめざして —

四国電気通信局では、四国で初めてのデジタル交換機D70を松山電話局へ導入するよう準備を進めていたが、五月十二日、機器の搬入を行い、設置工事を開始した。

このデジタル交換機は、愛媛県の市外通話の基幹部分を統括交換する交換機で、現在、松山電話局には市外回線一四、〇〇〇回線に見合う市外交換機(クロスバ交換機三台、電子交換機一台)が設置されているが、五八年度末には現有設備に限界がくるため、導入することとしたものである。

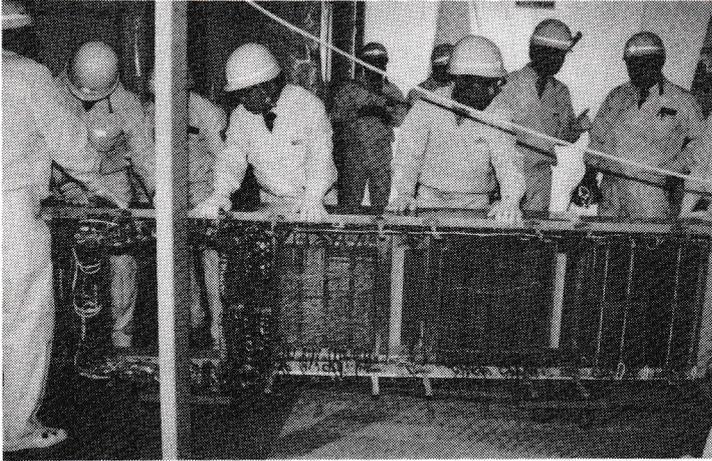
回線容量は五、七六〇回線で、サービス開始は五九年三月をめざしており、全国では八番目のデジタル交換機となる予定である。総工費は約四億円を見込んでいる。

デジタル交換機は、全国的に着手している光ファイバケーブルの建設とならび、電電公社が取組んでいる「I N S (高度情報通信システム)」の基盤となる「通信網のデジタル化」の一翼をになうものである。

従来の電子交換機は、通話路の接続に機械的な接点を使用していたが、これを高集積メモリに置き替え、電子化したものがデジタル交換機である。これにより機械的な可動部分が少なくなり信頼性が高くなるとともに、小形で経済的な交換機となっている。

また、デジタル交換機と、デジタル伝送路(光ファイバケーブルなど)を組み合わ

松山電話局へ搬入されるデジタル交換機ユニット



せることにより、デジタル信号化された通話を、長距離にわたる市外区間でも、デジタル信号のまま、伝送、交換することができることから、雑音やひずみに影響されにくい高品質で経済的なネットワークの形成が可能となるものである。

さらに、デジタル交換機は、デジタル情報を扱うサービスの交換に適していることから、将来の多彩な電気通信サービスを経済的に提供するのに有効な交換方式になるものと期待されている。

五八年度公社に対する

要望事項の回答について

五八年四月八日に電電公社退職者団体連合会会長から、公社に対して要望していた事項について、公社の考え方を各項につき次のように示されました。

一 生存者叙勲の範囲の拡大について

公社は五六年秋、郵政省に対し

- (1) 公社移行後の職員に対する受章の拡大
- (2) 調査役、調査員等単独職位に対する受章の拡大

を認めるよう要請し、現在郵政省内でその検討がすすんでいると思われませんが、今後にも更に働きかけを強めていきたいと考えております。なお勲等については、本人の在職中の功績及びその後の功績等により、総理府において総合的に決定されるものであり、公社外の受章者との比較は一概にできないところがあるものと考えます。

二 死亡者叙位叙勲の早期伝達

昨年に引き続き、機会をとらえて郵政省を通じて総理府に対し働きかけを行うとともに、公社内においても、各通信局等における伝達方法の改善による期間短縮に関し、検討及び努力を行う考えであります。

三 医療関係の共済組合任意継続期間の延長

共済組合の短期給付は、健康保険法による給付を代行する制度であり、任意継続組合員の期間についても、健康保険法で定められている期間（2年）と整合を図ってい

るものであります。

従って、公社独自で期間を延長することはもとより、公共企業体職員等共済組合法及びそのもととなっている健康保険法の改正を待たなければ実施できないものであります。

当共済組合としては、従来から各種事務打合せ会等において、関係方面に対し、任意継続組合員から期間延長について強い要望がある旨説明してきていますが、今後も引き続き説明していく考えであります。

四 医療施設の利用範囲の拡大

(1) 現在、公社は、職員の疾病構造の変化及び中高年齢層職員の増加傾向に対応して、在職者に対する成人病検診の充実の必要から、62年度末を目標として二年に一回は人間ドックの受検ができるようその実施体制の整備につとめているところであるが、未だ不十分な状況にあります。従って、医療共済加入退職者の方々に対し成人病検診を行うことは、非常に困難な状況にあることを理解いただきたいと思います。

一方で老人保健法が施行実施されたことにより、在宅者に対する健康診査の道も開かれたということについて理解いただきたいと思います。

(2) 公社病院については、すでに各病院とも医療需要に応じた必要な診療科を設置し、利用されているところであります。

また、健康管理所については、医師の確保が困難なこと等もあり、現状増置の考えはありません。

六 共済組合特約保養所の利用

共済組合直営保養所については、現在全国に三〇か所設置されており、利用についても組合員と同様の条件で利用できることとしております。

しかし、特約保養所については、利用料金の半額相当を共済組合が負担しており、その利用対象は組合員及びその被扶養者に限定しております。

これは組合員の掛金等により運営されている保健施設の財政状況に制約があるためであります。

こうした事情から、特約保養所の利用については、利用対象者に制限を設けざるを得ない状況にあるので、理解いただきたいと考えます。

七 退職者のための会館、クラブ等に談話室の付設

電信電話会館、職員クラブは職員と同じ条件のもとで利用できることとしております。また談話室については、退職者の方々のコミュニティ活動の一助となるよう共済会の社会福祉事業の一環として設置して来たところであり、現在設置されている通信局所在地の談話室の利用状況から判断して県庁所在地に設置の必要はないものと考えております。

八 共済年金相談センターの設置

共済年金に関する照会、相談等については、従来から各電気通信局厚生課において対応しており、これが年金相談センターそのものであると考えております。年金相談は、受給者の問合せが本人の具

体的な金額まで及び、各種証明書の発行等も個人データーを見ながら対応する必要があるなど、ほとんど個別具体的なものであり、これらは、直接年金支給事務を行い、また、一括してデーターを管理している当該課でなければ対応が困難なものであります。

従って要望については、さしむき、当該課において各種年金相談に對し的確、迅速な対応を行うように一層努力してゆきたいと考えております。

なお、将来、オンライン処理により関係データーを一カ所で管理できるようにすれば要望に沿うことができるものと考え、検討中であります。

九 医療福祉施設の拡充

伊豆白寿園については、現在のところ拡充する考えはありません。

高知県電電公社退職者の会総会

第二十二回総会は、高知市南はりまや町の得月楼において、五月二十七日午後二時から会員百三十二名出席のもとに開催された。

物故会員の冥福を祈り黙禱のあと、会長のあいさつに続き、曾我部高知電気通信部長から祝辞をいただく。

野村大蔵氏を議長に選出して議事に入り、五十七年度の事業報告、会計報告、監査報告、五十八年度の事業計画(案)予算(案)など、提案どおり可決し、長寿者(喜寿)の祝福、新入会員の紹介、新執行部代表のあいさつのと閉会した。

引続き、有志による懇親会を開き、久方ぶりの集いで、お互いに近況を語りあいながら、和気あいあい裡に、再会を約し散会した。

春の生存者叙勲

昭和五十八年春の叙勲に当り、前高松通信病院長松房実氏が、多年のご功績により叙勲の栄に浴されました。

ここからお喜び申しあげます。
勲三等瑞宝章 松房 実殿(高松)



電信電話工事協会会長表彰

多年にわたり電信電話工事に従事し、電気通信工事業界の発展に尽力されたご功績により五十八年五月十六日電信電話工事協会会長から電信電話工事協会賞が贈られ表彰されました。昨年十一月二十三日の電気通信産業功労表彰につき、おめでたい限りでございます。

堀内 善一殿(松山)

OBサークル等の便り

五八年度電電OB

軟式庭球春季大会(愛媛)

恒例の電電OB春季テニス大会が四月二十三日絶好の晴天に恵まれ堀之内市営コートに会員十数名が参加して行われ、久し振りにラケットを握る人も大いにハッスル四時間余に亘り熱戦を繰り広げた。

なお老いて益々元気な小松重幸氏の傘寿(八十才)を祝って記念品が贈呈され全員で懇親会を開いて和やかに解散した。

- 試合結果は次のとおり
- 優勝 吉村 玉木組 六戦全勝
 - 二位 織田 木村組 五勝一敗
 - 三位 小松 田内組 四勝二敗
 - 四位 福山 磯山組 二勝四敗
 - 四位 酒井 内藤組 二勝四敗
 - 六位 栗田 溝田組 一勝五敗
 - 六位 酒井 二宮組 一勝五敗
- 得失点に (木村利一記)

高松電報局O・Bの集い

さつき晴の五月二十一日(土曜日)高松電報局新館入口で、熟年の男女が三三五五集い、握手を交わしている人、肩を抱き合っている人など、時ならぬ光景が見られた。

これは、同局の施設見学に訪れた、高松電報局O・Bの受付風景の一コマである。高松電報局では、木造庁舎の老朽化に伴な

い、かねてから西側に鉄筋五階建ての新庁舎を建設中であつたが、これの完成を機に、先輩に施設見学を呼びかけることとなり、O・Bの有志とはかり「高松電報局O・Bの集い」を開催する運びとなつたもので、高松郵便局電信課時代から籍をおいた退職者二百二十五名に案内状を発送、歴代局長など七十一名の参加が実現したもの。

当日は午前十時半集合。山内宜英局長のあいさつ、局情説明に引き続いて、三組に別れて局内を見学、モリス時代を経験した人達だけに、すつから変ぼうした最新の機械設備に驚嘆していた。

正午から会場を近くの市町村職員共済会館に移し、記念撮影のあと懇親会に入り、岡内唯志発起人代表のあいさつ「……………ブルをかますなど電信マン独特の用語や、戦争中の動員令による電報の増嵩状況」等のはなしに青春時代を電信と共に生きた人達の集りだけに、往時のわが身を思いを起こしているのか、めい想してしづかにうなずいていた姿が印象的であつた。

このような催しは、昭和四十六年に次いで今回が二回目であるが、今回は十五名に及ぶ女性の参加と県外から十七名(東京一名、大阪三名、広島二名、松山八名、徳島三名)という多数の参加者のあつたことが特徴で、特に女性の人達は、現在と違って結婚するまでの職場という考えの強かつた時代であつただけに、一別以来の再会という人も多く、積る話に花を咲かせていた。

今回の参加者は、最高年令八十五才、最小年令五十〇才と三十年の年令差があつたが、

さすが同じ釜のメシを喰つた連中だけに、宴はいやがうえにも盛況を呈し、終了予定時間をオーバーする状況であつたが、今日のよき思い出をしっかりと胸に刻みつけ、又の再会を約して午後三時すぎ散会した。

なお、今回出席できなかった人達からも、今回の催しに対しての感謝や近況が寄せられており、意外な反応に発起人一同意を強くし、早くも次期開催について策を練っているとかが。(森安記)



合田 勇(松山)

交差点だれも赤にならずに
包装を待つ間に高い菓子を見る
はらまして憎いちゃ出稼ぎまたも行く
双方で仲人口を笑い合い

訃報

次の方が亡くなりました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

氏名	死亡月日	行年	所属
神村 英殿	58・2・11	七一	今治
亀川 林平殿	58・4・10	八二	鴨島
扇山 孝之殿	58・4・23	八三	今治
新谷 順一殿	58・5・17	五九	佐川
花山 茂三殿	58・6・3	六〇	松山
北岡 澄夫殿	58・6・3	五八	高知
土方 義夫殿	58・6・20	六七	高松

共済会だより(三)

電気通信共済会四国支部
福祉相談所

◎五八年度OB大学(一般教養科)開講

1 かねてご案内のとおり、去る四月十五日(金)、松山市内番町公民館において、五八年度の開講式を行い、引続いて、南海放送参与細田虔先生の「怨念総理の椅子」と題する時事問題の口演があり、当日の出席者は六十一名であった。

2 五月十九日には、予定にしたがって周桑郡丹原町に新緑の西山興隆寺を訪ね、院家大沢白聚氏の「生きがいを求めて」と題する講話をうかがった。

なお、同寺の鐘楼は今から約七百年前に建立されたもので、昨年末NHKテレビ「行く年来る年」に除夜の鐘の放映が行われたものである。

3 今後の講話はさきにご案内の計画にしたがって進める予定である。

◎趣味の作品展開催

今年度も、諸兄姉の作品を展示したいと考えています。

作品の種目は、日本画、洋画、書、写真、盆栽等を予定しており、開催の日程、場所等は改めて連絡することにします。

なお、出品者には粗品をさしあげます。

◎医療共済制度の現状

この制度は電電OBの方々の医療費の軽減をはかるため、昭和四八年に実施されましたが、通信病院の一般開放が進むにつれて加入者、利用者とも次第に減少しており、五七年度の状況はつぎのとおりです。なお現在未解

放の関東通信病院が開放された時点で制度の存廢が問題になるものと思われま

	加入者	利用者	医療費負担額
57年度	四八六八人	一、四九四人	二、四三七千円
56年度	七六〇八人	五、一一四人	三、八二九千円
対比%	六六	三九	六四

注：加入者は年度末現在

◎「ともがき荘」の利用状況

五六年五月に開設以来、OBの皆様からご利用いただいております退職者談話室「ともがき荘」は、五七年度に延四〇六一人、一日平均一三・八人(五六年度一三・四人)の方々の利用がありました。なお一層の利活用が望まれます。

◎福祉相談所の人事異動

退 職 福祉相談所管理課長 田 中 進

(三月三十一日付)

福祉相談所管理課長兼総務部調査役 武 智 弘 忠

福祉相談所調査役兼厚生福祉部調査役 笠 原 寅 男

愛媛営業所受託課長(福祉相談所調査役) 豊 田 眞 一

(以上四月一日付)

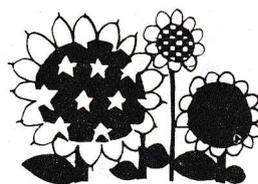
表紙のことば

白 百 合 莊 野 丹 秀 (内海)
庭の百合の花を表紙絵にスケッチしていると、青葉のなかで鶯が鳴いている。椿の木でヒヨドリがせせと餌をつついている。ハツ手の葉っぱで雨蛙が鳴きだした。のどかな朝の一時。

随 筆

(欧州紀行) (三)
インスブルック

猪 谷 嘉 夫 (高松)



東京オリンピックの年の冬期オリンピックがこの地で開催された。チロル地方の中心都市で山紫水明の地。街の北部には二千数百米の山々が屏風の如く連なり、その中腹一帯はスキー場でスキーヤーのメッカである。

インスブルック(オーストリア)は、中世紀の面影を多分に残す街で、魅力溢れるものがある。メインストリートのマリア・テレジア通りの入口には凱旋門がたち、アンナ戦争記念柱、黄金の屋根がある王が権勢を誇示するため、王宮の屋根に金めつきしたものと呼ぶ王宮などがある。マリア・テレジアとは一八世紀のオーストリアの女帝で仲々の女傑であった。フランスのルイ一六世の皇妃でフランス革命の際、哀れにもギロチン台の露と消えた、マリー・アントワネットの母である。市内を湾流するイン川はその昔、二百軒ばかり東方のザルツブルグ(塩の町の意)でとれる岩塩が船でこの地に運ばれ、その取引で町は大いに繁栄したとのことである。

チロル地方、オーストリア西部からイタリア北部にかけての地方をチロルという。スイスアルプスから派生する山々の間に町や集落

退職その後

梶 浦 照 秀 (徳島)

退職の前の年、永い間悩まされていた胃潰瘍の手術をした。胃が普通の人の三分の一になってしまった。そして定年を迎えた。

在職中の習慣で目覚めが早い。しかしもう退職して、行く所は無いのだと自分に言いかけ、言いきかせ寝るようになっていて朝寝のくせがついた。お蔭で朝食兼昼食の一日二食主義になった。

勿論胃を手術した関係で三食摂ると胃が重苦しい思いがしていたので、二食主義は胃のためには良い結果になったが、今度は、猫の額ほどの庭に花壇を作ろうと思いたち、無理をしたのが原因で腰痛に悩まされることになった。

すこし痛みがおさまったので、根治できぬものかと観音寺、松山、鴨島など良いと話して聞いては出かけて治療を受けたが、好転のきざしはみられなかった。

最後に隣の産婦人科医院に行き、注射をしてもらったら、二回でころりとなおった。

胃の調子もよく、腰痛が治ると、例の長い間の働きぐせがでてきて、テレビの料理番組を参考に、夕餉の酒のつまみなどを作ることになったが、みだいどころの領域を荒してご機嫌が良からう筈はなく、男が台所にはいるのはみっともない、と此処も締め出しを言いわたされている始末。

退職、その後のわびしさは、働きぐせが、無くなってしまう頃には、私から消えてゆく

ものであろうか。

ゴルフを楽しむ

東 條 栄 一 (徳島)

昨年退職した後、永い公社勤務の習慣から抜けられず、張りが施るみ孤独におちいり勝な自分との戦いに気力も失せ、為すことも無いボンヤリ暮らしの日が続いていた或る日、先輩から、ゴルフ「八〇会」への入会を勧められた。

一度は辞退したが、結局ご厚情に甘え入会することになった。それから、ゴルフ雑誌やテレビゴルフに首ったけになり、バーゲンで整えた用具も、上達が早いと聞くと遣り繰りして買い替えるという始末。

ボンヤリ暮らしがフツ飛んで、ゴルフに凝り気力に満ちた変りように家族が大笑いするありさま。コンベともなると前夜は子供の遠足のような騒ぎで、家内はスタミナ料理を作った蔭の応援をしてくれる。準備も終った夜の夢は、ウツラウツラとゴルフの夢ばかり。しかしコンペの成績はお決まりのとおりで、一向にあがらない。が、晩酌のなんとおしいことか。スコアカードを片手に、家内と娘に一部始終をひとくさり。家内は無理に笑顔を作って領いてくれる。

木当にゴルフは楽しい。コースの造形に加え、四季それぞれの自然美が重なり、打ち開けた山野にホールを追っての競技は全く私の知らなかつた世界であり、このようにゴルフの仲間に加えていただいたご縁を大切にしたいと思っている。

三たび皇居奉仕団に参加して

浜 口 徳 幸 (松山)

五十八年度の愛媛県皇居奉仕団は五月十日出発、十一日から四日間、宮城内、東宮御所の清掃奉仕をいたしました。

皇居での奉仕中、天皇、皇后両陛下からねぎらいのお言葉を賜りましたときは、感激のあまり、必ず来年も奉仕に参りますと、吾とわが胸に誓ったことでしたが、感涙する婦人団体の涙顔が喉に残り、日本婦人のやさしい真の姿を見たような思いでした。

東宮御所でも、皇太子と妃殿下から各団長に和やかに親しみ深いお言葉をいただき、なぜかひどく親近感を覚えました。

奉仕が終ったあと、富士、諏訪湖、上高地、下呂温泉、犬山などの周遊をしました。

白雪の富士山五合目からの大壮観、視野が開け大洋を思わせる諏訪湖、古城の松本、高山特有の味をとどめる上高地、高山の飛弾の里(民俗村)、日本三大温泉の一つといわれる下呂温泉、スリルと美観の日本ライン下り、犬山の明治村見学などさまざまの箇所を巡り、余生も少ない身にとって観光と保養の満足できる旅行でした。

電電OBから七名の参加があり、団長の大森勇さん(電電OB)も奉仕、旅行ともに大変心強く思われたようでした。

思い出すままに

溝 渕 キミ子 (高松)

木々の若葉の美しさに見とれたのはついでの間のように思えるのに、もう緑濃いこの頃、

水の季節が近づくと思い出されるのが大洲の「うかい」のことである。

昨年九月中旬松山の親せきを尋ねたとき、思いがけなく大洲の「うかい」と「いもたき」に案内された。大洲には「うかい」のほか「いもたき」があるとは聞いていたが、今まで行く機会にめぐまれなかった。「いもたき」は肱川沿いの臥龍苑に近い川原で行なわれる。夕方近くになると川原にござを敷いてテールが並べられ、電燈を吊るして「いもたき」の準備がなされていた。

私達は午後六時に屋形船に乗り船で「いもたき」料理を食べながら「うかい」見物に出た。やがて日が暮れ薄闇の対岸から「いもたき」客の賑やかな声と、灯が流れてくる。

風が出て少し肌寒い夜の船上。提灯のあかりをともした「うかい」見物の屋形船が、川上、川下から現われ交錯する。詩吟同好のグループであろうか、一同で詩を吟じる声が高らかに川面をよぎる。時に風が強くなると船は流され気味で、船底に砂利をする音がして浅瀬に乗り上げそうになる。

船頭は水深に気を使いながら「うかい」見物集結場所へと櫓をこぐ。八時頃、川上から「うかい」の船が下ってきて、見物船の集結している良い場所だ「うかい」を演じる。

闇の川面をかがり火が照らし、「う」が瞬時水にもぐって魚を捕えると、見物船から拍手が湧く。「うかい」ならではの雰囲気と風情に吾を忘れる楽しい一時であった。

一枚のあいさつ状

吉 益 格 (徳島)

公社においては例年のとおり、二、四月の頃は人事異動の時期であり今年もまた多くの方々が転任、退職の辞令交付を受けたことでしょう。私も退職後早くも丸一年の歳月が過ぎました。一年前の話で大変恐縮ですが、私も退職時には例によって挨拶状を差し上げましたが、もちろん定型通りの印刷物であり、御返事を戴く等の気持ちはサラサラ無く、形式的な義理を果たし一区切りをつけるための行為でもありました。

ところがである。このお義理一辺の印刷物に對してかつての上司でもあるAさん、Kさんまた同僚二人の方々から、それぞれ御自分の体験から得られた今後の健康管理、処世方法等有益で丁重なお便りを戴いたのです。かつて在職中は沢山の挨拶状を戴いたものであるが、軽く一読して御返事等は思いもよらず、抽出しの奥底とか机上の片隅に置き忘れ、いつの間にか紛失してしまつたものであるが、先輩同僚の皆さんから御返事を戴いた瞬間、丁度、目からウロコが落ちる。のたとえどおり今までの私の無神経さを恥じ入ると共に今さら、ハガキ一枚から心のフレ合いの重要さ、思いやりをこめた挨拶が人の情けの尊さや、円満な心を通わせ合う基本であることを身をもって教えていただいたものと痛感した次第であります。

私はそれ以後、今まで閉じこもっていた公社の殻から抜け出す手始めに、町内の方々に朝の挨拶をすることにしているが、今までは

よそよそしかった方々も、唯の「一言」で笑顔で接してくれるようになったのがとても嬉しく感じられるこの頃です。

今年も人事異動に伴い退職者の私にさえも、五通の栄転、退職の挨拶状を戴きましたが、昨年の貴重な教訓を生かして、乱文悪筆ながら御返事を差し上げた次第であります。

嘘のよつな話

横 山 竹 義 (松山)

私は仕事の関係上紀元二千六百年のお江戸初上り後、戦前、戦中、戦後を通じ何回となく上京する機会を得た。戦時中の空襲下、戦後は引揚者とともに、また物資欠乏の時代には横暴な闇屋と同乗しての上京の旅もあった。ある時は、弁当を持っていながら食べることとできないまま名古屋から岡山まで立ち続けたこともあった。

さて、空襲下に上京したある日のこと、それは終戦も真近の六月であったが、一通信局書記が他管内の郵便送業務に關与した話である。当時の汽車は松山から東京まで二十時間位を要した。松山を午前中に出て、大阪から夜行列車になり沼津あたりで夜明けになつたように思う。当日は列車は大変な混雑で、乗車券は持っていたが特に郵便車の片隅に座らせてもらっていた。大垣、岐阜あたりから空襲警報が出され、列車は各客車とも一切光りが洩れないように暗くしていたが、郵便車は作業を続ける必要上幾分明るくしていた。ところが乗客の一人が唸鳴りこんできた。「いくらお上のお役人でも気をつけてもらわんと困る。もし爆撃にでもあったらどうするか」



と。この理もつともながら、郵便作業は続けないと駅での郵便物の受渡しができない。困り切った係の主任がどうしたものかと私に相談を持ちかけてきた。私に指示をする権限がある筈がなし、返答に困り「欠便とした郵便物の扱いはどのようにしているか」とたずねたところ「やむを得ないので、可能な局から逆送すればよい」とのこと。この相談ができたのは名古屋を過ぎ安城あたりであったと思う。それから郵便車も客車同様に蛍のようなあかりで夜が明けるまでを過ごした。

嘘のような本当の話？。それとも私の夢物語かを確かめるには、あの郵便車の主任さんにお出ましいただく以外術がない。あの人は今いづこにいるのか、たずねるすべもない。

眉 秋 抄

(徳島)

五月晴白一線の飛行雲
 晴れ渡る五月の空や古稀迎う
 海幽か夏めく淡路霞みけり
 藤の花そこら野外の彫刻展
 下闇や岩窟の千手観世音
 北陸路車窓に尽きぬ植田風
 葉桜や漢詩ばかりの寺襖
 夏めくや大胆な柄着こなし
 葉桜に道かるやかに人行けり
 夏の蝶雨に隠るる草の中
 口あけて五月雨を呑む鯉も居て
 葉桜の緑光に映え枝敷閉ぢ
 夏めくやテレビの前の蛾の影す
 池の端岩肌を這う藤の花
 灯を消した眠りに茨の匂いくる

青山 清澄
 太田 稲雨
 三島 花人
 森 光葉
 安洲 久青
 森田 南斗
 長尾 我人
 豊崎 雲庭

離れ住む孫の鎧をかざりけり
 咲きそめて数うに余る垣の茨
 葉桜の陰に四五人寺の門
 五月雨や大橋けむる吉野川
 ラッシュ時の夏めく駅の出入かな
 おとがいに夏帽結び田あぜ塗る
 雨模様竹の葉揺るる雨蛙
 夏めきて夕餉に子呼ぶ声高し
 葉桜や賽銭函へ背伸びの児
 薔薇崩れ子等の遊びの荒々し
 薄味になじみて暮し風薫る
 万緑や霊峰護摩の煙立つ
 丸木橋清水湧き出て著我の花
 五月雨に心重たき喪服ぬぐ
 つつじ炎ゆ閉ぢすことなき仁王門
 若葉風川の流れにそうて来し
 眼下なる街引きよする五月晴
 葉桜を求め深山の景を知る
 菖蒲湯に浸り平和な国土知る
 野茨の憶いは遠きことばかり
 藤仰ぐ天日昏む思いととも
 (昭五八・五。月例会より。順不同)

やまもも句会(四月吟行)

原 稚峰
 土橋 如水
 広瀬 琴水
 幸田 蝸牛
 笠井 妙女
 日開 桃花
 岡 まり子
 吉田富士子
 久米みどり
 長島 正雅
 大西 瓶子
 岡崎 花子
 安村 淑
 池内 寿子
 柴田マサ子
 寺村 愛子
 今田 直水
 田の内露風
 小笠原ひろみ
 横田すが子
 井上すみ子

万葉の径たどり来て山すみれ
 谷渡りしきりに寺の紫木蓮
 子供養の地蔵に哀し春の雨
 堂縁に座して句作や百千鳥
 早春のせせらぎ潜る石の橋
 莫座敷いて席待つ人に落花かな
 峯寺山越せば展らける春の海
 踏めば鳴る一人静の苔の磴

小笠原芳子
 田中 兼尾
 別役 幸子
 山本 澄華
 小松としみ
 公文 政恵
 溝渕及文字
 井上ひろし

投稿規定

- 一 会員消息 四〇〇字以内
- 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
- 三 随筆、随想 六〇〇字以内

編集後記

▽五七年度公務員給与改定が見送られたことにより、今次国会では年金の改正は取り上げられないうえ、五八年度は改正の予算措置も講じられていないなかで、三公社と国家公務員共済年金の合併が次期国会できめられようとしています。今後の扱いが気懸かりです。

電友会四国連合会報

昭和五八年七月一日発行
 編集発行 電友会四国連合会事務局
 松山市一番町四丁目(二十七九〇)
 四国電気通信局内

電話(〇八九九)三六一二〇二三
 印刷 四国電話印刷株式会社

かけたい時に手が届く お部屋どうしが近くなる。

ホームテレホンD ホームテレホンF



商店や部屋数の多い住宅に適した電話です。電話を使いたいお部屋に1台ずつ置いておけば、どの部屋からもかけたり受けたりできます。また、インターホンとしても利用できますので、部屋どうしのお話や、玄関でのお客さまもドアホンを通して対応できます。他の人に聞かれたくない時は、スイッチ1つで切替えOK。さらに、スピーカによる一斉呼び出しや、受話器をとらずにダイヤルできる機能などもそなえています。



家族構成や間取りに合わせて、1本の電話が2～3台で使える家庭の電話の決定版です。どの電話機からでもかけたり受けたりできます。また、電話機相互でもお話ができます。かける電話も、かかってきた電話も他の電話機から聞かれることはありません。

あなたの声を、サービスに生かす オレンジライン

電電公社では、お客さまのご意見・ご要望を積極的にお聴きし、事業活動に反映させようという考えのもと、「社会の心を公社に、公社の心を社会に」を合言葉に、お客さまと幅広いコミュニケーション活動を行っています。このお客さまと電電公社を結ぶホットラインがオレンジラインです。

お客さまのご意見を貴重な経営の指針として受け入れ、サービスに生かそうという公社の心がまえをオレンジという暖かい色でシンボライズしたオレンジライン。

- ①いつでも、誰でもお気軽に声を寄せていただけるように各電話局に設けたオレンジカウンター
- ②お客さまの声を積極的に聴くためのお客様代表者会議
- ③お客さまから寄せられたご意見を検討し、可能なものはただちにその実施をはかるオレンジ委員会など

公社の決意とオレンジラインの主旨をご理解いただき、お気軽にご意見・ご要望をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

もっとわかりあえる、明日へ



電電公社